

2024年4月30日

味の素冷凍食品（株）、中国自社工場を集約・強化 ～中国冷凍食品事業の構造強化により採算性と資産効率を向上～

味の素冷凍食品株式会社（社長：寺本博之 本社：東京都中央区）、味の素（中国）社（董事長：井筒重明 本社：中華人民共和国上海市、以下 AC 社）及びライフフーズ社（社長：矢野良一 本社：東京都中央区、以下 ライフ社）は、連雲港味の素如意食品有限公司（董事長：高城一彰 本社：中華人民共和国江蘇省、以下 LAN 社）を、2024年6月をめどに連雲港味の素冷凍食品有限公司（董事長：高城一彰 本社：中華人民共和国江蘇省、以下 AFL 社）に吸収合併することを2024年3月26日（火）に決議いたしました。なお、LAN 社は2024年4月末をもって生産活動を停止、今後 AFL 社に生産を集約いたします。

味の素グループは、2023年2月に発表した中期 ASV 経営 2030 ロードマップにおいて、アミノサイエンス®の強みを活かした4つの成長領域（「ヘルスケア」「フード&ウェルネス」「ICT」「グリーン」）を掲げており、その1つである「フード&ウェルネス」領域では、冷凍食品事業の成長路線への転換による収益拡大に加え、健康・栄養価値、多様な価値観を共創する新しい事業基盤を構築することで、成長の加速をめざしております。当社は、高い提供価値を持つ製品の拡大とオーガニック成長、それに対応した構造改革による事業構造強化推進への取り組みを通じて、2030ロードマップの実現を目指します。

LAN 社は日本向けの鶏肉加工品や野菜加工品および調理済み冷凍食品の生産を行うために1995年に当社、AC 社及びライフ社との3社合併で設立されました。LAN 社は設立から23年経過し、建屋設備老朽化のため、今後の事業継続には追加での設備投資が見込まれる一方、AFL 社は主に欧米向け炒麺、日本・中国向けスイーツの生産が順調に推移していることから、LAN 社から既存製品を移管し今後も設備投資を行いながら生産体制の再編を行い、AFL 社に事業を一本化する事といたしました。

なお、本件による2025年3月期連結業績への影響は軽微であり、業績予想に織り込み済みです。

味の素冷凍食品は、食と健康の課題解決に向けた新たな価値を提供し続けるとともに、生活者の皆さまに「感動」で「笑顔」をお届けし、世界中の Well being に貢献していきます。

<AFL の概要>

- 会社名：連雲港味之素冷凍食品有限公司（Lianyungang Ajinomoto Frozen Foods Co.,Ltd.）
- 所在地：中華人民共和国江蘇省
- 従業員数：約630名（2024年3月末現在）
- 事業内容：冷凍食品の製造・販売
- 株主：LAN 社 50%、当社 25%、AC 社 25%（本件実施前）
当社 70.56%、AC 社 22.59%、ライフ社 6.85%（本件実施後）
- 設立：2000年11月
- 予定：2024年6月 LAN を統合し継続

<LAN の概要>

- (1) 会 社 名 : 連雲港味之素如意食品有限公司 (Lianyungang Ajinomoto Ruyi Foods Co.,Ltd.)
- (2) 所 在 地 : 中華人民共和国江蘇省
- (3) 従業員数 : 約 132 名 (2024 年 3 月末現在)
- (4) 事業内容 : 冷凍食品の製造・販売
- (5) 株 主 : 当社 80%、AC 社 10%、ライフ社 10% (本件実施前)
- (6) 設 立 : 1995 年
- (7) 予 定 : 2024 年 6 月 AFL に統合し閉鎖